



法然上人
浄土宗
 開宗850年
 お念佛からはじまる幸せ
 令和6年

浄土宗開宗八百五十年慶讃事業

れい わ ばん けち えん きょう みょう
令和版結縁交名のご案内

お念佛からはじまる幸せ

浄土宗とは



開宗850年とは



浄土宗総務部 〒605-0062 京都市東山区林下町400-8
 電話 075-525-2200

南無阿彌陀佛

法然上人六字名号『選擇本願念佛集』廬山寺所蔵

「令和版結縁交名」（別紙）でご縁を結びましょう。

- 手を合わせ「南無阿彌陀仏」とお念仏を十回お称えしましょう。
- 「令和版結縁交名」（別紙）左側の「南無阿彌陀仏」をなぞり書きしてください。
- 同じく、右側にお名前を書いてください。
- 漢字でもひらがなでもどちらでもかまいません。
- 本紙は、ご縁の証として、大切に保管してください。

※令和版結縁交名は、ご縁の証として奉納することが目的であり、その他の用途に使用することはありません。

浄土宗開宗八百五十年に お念仏のご縁を結ぶ「令和版結縁交名」を 阿弥陀さまに奉納いたします

令和版結縁交名とは

浄土宗の宗祖・法然上人（1133～1212）の弟子である源智上人は、法然上人の一周忌に合わせて「源智上人造立阿弥陀如来立像」を造立されました。お像の中には、造立願文と共に結縁交名が納められていました。造立願文には、「南無阿弥陀仏」（お念仏）を称えるすべての人々が阿弥陀さまに救われると説かれた法然上人の志を継ぐことこそがご恩に報いることになる」と記されています。



源智上人造立阿弥陀如来立像（国指定重要文化財） 浄土宗所蔵

お念仏を称えれば、西方極楽浄土におられる阿弥陀さまやご先祖さまが私たちをよき方向に導き、見守ってくださいさるのです。

結縁交名には、お像を造るにあたってご縁を結ばれた4万6千人にのぼる多くの姓名が書かれています。それは、多くの人が西方極楽浄土に往生することを願い、法然上人のみ教えに感謝してお念仏を称えた証です。

令和6年（2024）に法然上人が浄土宗を開かれてから八百五十年を迎えます。令和の時代に生きる私たちも、お念仏を称え、往時の人々にならって別紙に自分の名前を記しましょう。そのすべてのお名前を集めて「令和版結縁交名」として阿弥陀さまに奉納いたします。

この好機に一人でも多くの皆さまにご利益いっぱいのお念仏のご縁を結んでいただきたく謹んでご案内申し上げます。

造立願文 結縁交名の動画 「法然上人報恩の弥陀」をごらんください

源智上人の造立願文には、今日、私たちが持つべき姿勢、心のありようそのものが記されています。デジタルデータをフル活用して、阿弥陀如来立像を詳細に解説し、源智上人や当時の人々の想いをひもときます。



交名中には源頼朝、平清盛などの名も

昭和54年（1979）に阿弥陀如来立像の像内に納められていた造立願文と結縁交名が発見されました。造立願文は建暦2年（1212）12月24日付となっており、膨大な数の交名は法然上人ご入滅後一年足らずの間に集められたと考えられます。その中には源頼朝、源頼家、源義経、平清盛（守）などの名も見られます。



阿弥陀如来立像の像内に納められていた結縁交名